

## 2023年度4月から9月 園児の健康の様子

### 1. 感染症の状況

感染症発生状況	4月	5月	6月	7月	8月	9月	計
新型コロナウイルス	0	1	0	1	3	3	8
インフルエンザ	0	0	0	0	0	2	2
感染性胃腸炎	1	2	0	0	1	1	5
溶連菌感染症	0	0	1	0	0	4	5
おたふくかぜ（流行性耳下腺炎）	0	2※疑い	1※疑い	0	3※疑い	1※疑い	7※疑い
みずぼうそう（水痘）	0	0	0	0	0	0	0
リンゴ病（伝染性紅斑）	0	0	0	0	0	0	0
手足口病	1	0	1	0	0	3	5
ヘルパンギーナ	0	0	15	3	0	2	20
プール熱（咽頭結膜熱）	0	0	0	0	0	0	0
はやり目（流行性角結膜炎）	0	2	0	0	0	2	4
その他のアデノウイルス	0	1	0	0	0	0	1
突発性発疹	1	1	0	1	0	0	3
とびひ	0	0	0	0	0	0	0
アタマジラミ	0	1	2	4	0	1	8
RSウイルス	0	0	7	5	0	0	12
ヒトメタニューモウイルス	0	1	0	6	0	0	7

国の新型コロナ対策の切り替わり後、様々な感染症の流行がニュースになりました。園でも『名もなき風邪』が流行し、RSウイルスや川崎病で入院治療を受けたお子さんもいます。保健所報告レベルの流行はありません。これは日頃から、保護者の皆様がお子さんの体調を見極め登園や保育時間を判断して下さっている効果も大きいと考えます。引き続き、大人の連携で子ども達の健康な育ちを支えていきたいと思います。

### 2. けがの対応



※保育中に起きたけがのうち、医療を必要としたけがの状況です。

医療を必要とするけが	4月	5月	6月	7月	8月	9月
2018年度	0	0	0	1	2	2
2019年度	1	1	2	1	0	1
2020年度	1	0	0	0	1	1
2021年度	1	2	0	0	0	3
2022年度	2	1	2	0	0	1
2023年度	2	0	0	0	2	1
内容	園からの受診				4歳：園庭のタイヤを飛び越えようとして前方に転倒、右上腕骨顆上骨折（固定8週間、整形外科、都立小児）	4歳：熱性けいれんによる救急搬送（日野市立）
	保護者の受診	1歳：足に園児椅子が倒れ爪甲剥離（皮膚科） 2歳：木製レールで目の付近に傷（眼科）			3歳：お迎え時右肘脱臼、痛みが続き経過をみている間に靭帯損傷（固定3週間、整形外科、多摩南部）	

◎園庭で肘の骨折事故が発生しています。時間は16時半頃、普段基準以上6名の職員で園庭の見守りをしています。当日基準は満たすものの1名少ない5人体制、トイレやお迎えの対応が重なり、事故の瞬間を見逃していました。改善策として6名配置を基準に、遊びの見守りと全体を見る役割の職員の連携強化、学年担当者が園児の把握がしやすいよう、使用する帽子の色の変更等を行っています。

◎その他：おもちゃの一部をかじり誤飲（0歳）散歩で拾った桜の実を鼻に入れていた（2歳）鼻や耳に異物を入れる事は2～3歳クラスのお子さんに多いようです。園でも過去に、どんぐり・コーン・BB弾などを鼻に入れてしまったという対応の経験があります。ポケットの中身にも十分ご注意ください。